

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年7月30日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	宇都宮市	代表者名	佐藤 栄一
担当者部署	総合政策部	連絡先電話番号	028-632-2094
担当者役職		担当者氏名	
住所	320-8540 栃木県宇都宮市旭1-1-5		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原田 智
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	本市の意向を十分に確認していただき、これまでの取組み経過や今後の方向性も踏まえた上で、今回実施する予定のRPAに係る研修について、過去の事例も踏まえつつ、具体的なご提案をいただくことができた。
アドバイザーへの要望事項	・過去の資料の提供依頼

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年7月26日	10時30分	11時30分		60
3-2. 派遣場所	会場名	宇都宮市役所6階情報政策課		最寄駅	JR宇都宮駅
	所在地	栃木県宇都宮市旭1-1-5			
	最寄駅からの交通手段	バス			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	5人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	・RPAについて、作業の自動化など、イメージやキーワードが先行しており、正確な実態を把握できていないため、実際の業務への活用が進んでいない。 ・RPAの具体的な活用事例や効果が十分に周知できておらず、各職員が担当業務レベルで実際に活用していく意識付けが出来ていない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	RPA等のICTを積極的に活用した業務の効率化・高度化を図り、ひいては、市民サービスの向上や地域産業の活性化を図ることを目標とし、まずは、令和2年度当初予算への計上を目標とする。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	上記の支援をいただくため、8/7に市職員を対象とする研修会を実施するが、その具体的な内容について事前に打ち合わせを行った	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	RPAの導入にあたり、BPRや業務改革もあわせて検討が必要であり、今回実施予定の研修内容に反映することが決まった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前打合せのため、アンケート未実施	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	RPA等のICTを積極的に活用した業務の効率化・高度化を図り、ひいては、市民サービスの向上や地域産業の活性化を図る	
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。		
<ul style="list-style-type: none"> ・打合せのため省略 		